

いわき明星大学 同窓会

同窓会会報 第20号 2012.8 発行

共にいつまでも



URL : <http://www.iwakimu.ac.jp/dousou/>

いわき明星大学同窓会 事務局

〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野 5-5-1

TEL:0246(29)5270/FAX:0246(29)7846/E-mail:dousou@iwakimu.ac.jp



ごあいさつ

同窓会会長 ● 大久保 明 朗 (基礎理 1 期卒)

会員の皆様及び明星学苑関係者の皆様日ごろは当会の活動にご理解を頂きありがとうございます。

さて、この誌面をお借りして、運営サイドの観点から、皆様に近況をご報告致します。

東日本大震災に伴う寄付のお礼 (詳細ページ 11 p)

昨年、皆様に呼びかけましたところ、158名の皆様から総額1,386,000円の寄付が寄せられました。ありがとうございました。

お送りいただいた寄付金の使途につきましては、先にホームページでご案内させて頂きましたが、改めて本誌面に記載したのでご確認願います。

皆様のご厚情、ありがとうございます。

次回総会のご案内

東日本大震災及びその後発生した福島第1原子力発電所事故による放射能漏洩の問題などもあり、昨年及び今年の総会については代表委員の皆様のみのご案内を送付させて頂きました。本来、規約ではその対象を全会員としており、次回以降は全会員の皆様に参加のご案内をすることと致しました。次回総会にはより多くの皆様にご参加頂きますようご案内申し上げます。

■次年度定期総会開催予定

平成25年6月15日(土) 16:00～

いわき明星大学地域交流館プレゼンテーション室

入会16年目以降の会費徴収のご説明

(詳細ページ 12 p)

当会では、卒業予定年次の授業料請求時に入会金及び15年分の会費を一括して納めて頂き、その後は5年分ごと会費を頂く旨規約に定めております。いよいよ次年度からその対象となる会員様が生じます。対象となる会員様については、次年度の本誌発行に当たり会費請求のご案内及び振込用紙を同封させて頂きますので、本件趣旨をご理解頂き、当会活動の源泉となる

会費納入の程、宜しくお願いいたします。

ホームカミングデーへのお誘い (詳細ページ 19 p)

昨年度からはじめたホームカミングデーですが、今年も学園祭に合わせて開催します。本件は、現在の大学を見て頂くこと。及び旧友や昔、お世話になった先生方との再会の場を提供することが主たる目的です。

さて、実際に社会に出た方の話として、自分が身を置く業界中心の付き合いとなり、視野が狭くなりがちであるという話を聞きます。従って、このような場を利用して、他業界の方の話を「いわき明星大学の卒業生」というフィルターを通して聞く事も意味あることかと考えます。逆に、自身と同じ業界であったとしてもこのフィルターを通すことで、これまで得ていた情報の修正が図れる場合もあるかと思えます。

同じ大学の卒業生とはいえ初めての方がほとんどの場合もあるでしょうが、原点に立ち返り、これまでのご自身の歩みを振り返るよい機会としていただければ幸いです。

運営サイドとしては、ますますホームカミングデーへの参加者を増やすことを目的に資源投入を図る予定です。ぜひたくさんの方にご参加願いたいと考えております。

さて、足早に近況を報告させていただきました。私としては、当会運営を安定したものとしたうえで、会員の皆様相互の交流を促進させることを主眼においた運営に当たりたいと考えています。今後とも、当会の趣旨をご理解頂きご支援を賜ると共に、皆様のご意見に耳を傾けて当会の運営に当たりたいと考えておりますので、何卒ご支援のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、当会の会員の皆様のご発展及びご活躍を祈り挨拶に代えさせて頂きます。最後までお読み頂きありがとうございます。

平成24年度 定期総会

平成24年6月16日(土) 16:00～
於 いわき明星大学 プレゼンテーション室

同窓会1期～23期委員243名のうち22名の方々が出席をもって開催されました。

議事

- ①平成23年度 事業報告
- ②平成23年度 同窓会決算報告
- ③平成24年度 第22期同窓会委員の承認/新役員の承認
- ④平成24年度 事業計画 承認
- ⑤平成24年度 同窓会予算



平成23年度 同窓会決算報告

《一般会計：通常預金》 平成23年4月1日～平成24年3月31日

| 収入の部 | | (単位：円) | |
|-------------------------|------------|----------------|--|
| 科 目 | 決算額 | 摘 要 | |
| I. 一般収入 | | | |
| ①本年度入会金 | 6,960,000 | | |
| ②四年度次生 (5,000円×348名) | 1,740,000 | | |
| ③既 卒 生 (5,000円× 0名) | 0 | | |
| ④本年度会費 | 5,220,000 | | |
| ⑤四年度次生 (15,000円×348名) | 5,220,000 | | |
| ⑥既 卒 生 (15,000円× 0名) | 0 | | |
| II. 利息収入 | | | |
| ⑦預かり金 8月～10月 東日本大震災支援募金 | 2,007 | 普通預金・定期預金利息 | |
| ⑧前年度繰越金 | 1,391,000 | | |
| ⑨前年度繰越金 | 12,049,719 | 平成22年3月31日現在残高 | |
| 総 計 | 20,402,726 | | |

| 支出の部 | | (単位：円) | |
|---------------------------------|------------|-------------------------------------|--|
| 科 目 | 決算額 | 摘 要 | |
| I. 事業関係費 | | | |
| ①総会、役員会開催費 | 3,909,108 | | |
| ②総会費 | 94,260 | 特別総会(震災の為) | |
| ③会議費(役員会等) | 45,000 | 年4回役員会、奨励金審査会、臨時会議 | |
| ④同窓会だより発行費(1回) | 49,260 | 2011.3現在 総会員数11,514名 | |
| ⑤卒業支援事業費 | 2,035,724 | | |
| ⑥卒業生謝恩会 | 1,008,810 | 21期(平成22年度)・22期(平成23年度)・22期(平成23年度) | |
| ⑦卒業生謝恩会 | 800,000 | 21期(平成22年度)・22期(平成23年度) | |
| ⑧卒業生謝恩会 | 208,810 | 22期(平成23年度) | |
| ⑨同窓会員支援事業費 | 770,314 | | |
| ⑩ホームカミングデーの開催 | 757,814 | 第1回開催準備・開催費等 | |
| ⑪役員改選 | 12,500 | 平成24年度新役員 | |
| II. 事務局関係費 | | | |
| ⑫人件費 | 1,513,182 | | |
| ⑬用品費、消耗品費 | 1,150,289 | 交通費・労働保険料含む | |
| ⑭印刷費、通信費 | 95,157 | 用紙・インクジェット等 | |
| ⑮郵便費、通話料 | 117,706 | 後納郵便料金、電話料金 | |
| ⑯渉外費、庶務費、交通費 | 101,880 | 同窓会行事・役員会(交通費) | |
| ⑰支払手数料 | 26,100 | 証明書発行料、振込手数料 | |
| ⑱福利費 | 22,050 | 健康診断 | |
| ⑲修繕費 | 0 | | |
| III. 積立金 | | | |
| ⑳周年事業準備金 繰入 | 3,500,000 | | |
| ㉑大学支援事業準備金 繰入 | 1,000,000 | | |
| ㉒同窓会運営事業準備金 繰入 | 1,000,000 | | |
| ㉓同窓会連帯事業準備金 繰入 | 1,000,000 | | |
| ㉔同窓会奨励金 繰入 | 500,000 | | |
| ㉕予備費 | 20,000 | 会費返還1名 | |
| IV. 東日本大震災支援募金(預かり金より支出) | | | |
| ㉖前年度繰越金 | 866,250 | 東日本大震災復興支援(特定寄付) サーベイメータ | |
| ㉗次年度繰越金 | 10,594,186 | 平成24年3月31日現在 通常預金残高合計 | |
| 総 計 | 20,402,726 | | |

《積立金 会計》 平成23年4月1日～平成24年3月31日

| 収入の部 | | (単位：円) | |
|-----------------|------------|------------------|--|
| 科 目 | 決算額 | 摘 要 | |
| I. 本年度積立 | | | |
| ①奨励金 | 500,000 | 平成22年度一般会計予算より繰入 | |
| ②周年事業準備金 | 1,000,000 | | |
| ③大学支援事業準備金 | 1,000,000 | | |
| ④同窓会運営事業準備金 | 1,000,000 | | |
| ⑤定期預金 | 0 | | |
| II. 利息収入 | | | |
| ⑥前年度繰越金 | 9,824 | 普通預金・定期預金利息 | |
| ⑦前年度繰越金 | 51,175,096 | 平成23年3月31日現在残高 | |
| 総 計 | 54,684,920 | | |

| 支出の部 | | (単位：円) | |
|------------------------|------------|----------------|--|
| 科 目 | 決算額 | 摘 要 | |
| I. 奨励金事業 | | | |
| ①平成23年度ステップアップ奨励金...給付 | 47,520 | | |
| ②給付手数料 | 45,000 | 給付4件 | |
| ③給付手数料 | 2,520 | | |
| II. 周年事業準備金 | | | |
| ④前年度繰越金 | 0 | | |
| ⑤大学支援事業準備金 | 0 | | |
| ⑥同窓会運営事業準備金 | 0 | | |
| ⑦定期預金 | 0 | | |
| III. 同窓会連帯事業準備金 | | | |
| ⑧前年度繰越金 | 0 | | |
| ⑨次年度繰越金 | 54,637,400 | 平成24年3月31日現在残高 | |
| 総 計 | 54,684,920 | | |

平成23年度決算報告書のとおり、決算致しました。
平成24年3月31日

いわき明星大学同窓会 会 長 大久保明朗
会 計 櫻井 馨士
会 計 島崎 圭介

平成23年度決算報告書会計監査の結果、適確にして適法であることを認めます。
平成24年3月31日

監 査 宮腰 俊行
監 査 安藤 孝幸

《預金明細》

| 種 別 | 預 金 先 名 | 金 額 |
|------|-----------------------------|------------|
| 通常預金 | 普通預金 ゆうちょ銀行(いわき中央) | 396,214 |
| | 振替口座 ゆうちょ銀行(仙台好金事務センター) | 1,890,701 |
| | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 8,307,271 |
| 計 | | 10,594,186 |
| 積立預金 | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) 奨励金 | 2,512,008 |
| | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) 周年事業準備金 | 11,004,105 |
| | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) 大学支援準備金 | 10,002,906 |
| | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) 同窓会運営事業準備金 | 21,008,200 |
| | 定期預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 10,110,181 |
| | 定期預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 10,110,181 |
| 計 | | 54,637,400 |
| 合 計 | | 65,231,586 |

平成23年度 事業報告

| | |
|---|--|
| 1 | 同窓会だより「共にいつまでも 19号」発行(8月) ◆作成部数 10,500部 |
| 2 | 同窓会平成23年度 簡易総会 ◆平成23年6月11日(土) いわき明星大学プレゼンテーション室 ◆参加者 16名 ※ 震災により、役員及大学関係者のみ参加内 |
| 3 | 22期生の会費徴収 |
| 4 | 大学に対する卒業記念品贈呈 ◆記念樹「河津桜 6本」 |
| 5 | いわき明星大学同窓会「ステップアップ奨励金」制度 運用開始 ◆申請者 4名 ◆資格件数 5件(給付総額 45,000円) |
| 6 | 同窓会員支援事業 ◆第1回ホームカミングデーの実施 平成23年10月22～23日 参加人数のべ100名 ◆21期卒業 卒業式支援 10月(震災により中止となった式の開催) ◆平成24年度新役員 役員改選 |
| 7 | 震災復興支援事業 ◆東日本大震災 いわき明星大学同窓会支援金の募集 募金額 1,391,000円 158名 大学寄贈品 空間放射線測定器 :サーベイメータ 2台 866,250円 |
| 8 | 役員会の開催 5月/7月/10月/1月 年4回 |

平成24年度 同窓会予算書(平成24年6月16日承認)

《一般会計》 平成24年4月1日～平成25年3月31日

| 収入の部 | | (単位：円) | |
|----------------------------|------------|--------|--|
| 科 目 | 予算額 | 摘 要 | |
| I. 前年度繰越金 | | | |
| | 10,594,186 | 通常預金計 | |
| II. 一般収入 | | | |
| ①本年度入会金(四年度次生 5,000円×341名) | 8,400,000 | | |
| ②本年度会費(四年度次生 5,000円×79名) | 1,705,000 | 計420名 | |
| ③本年度会費(四年度次生 15,000円×341名) | 5,115,000 | | |
| ④本年度会費(六年度次生 15,000円×79名) | 1,185,000 | | |
| ⑤ 〃 (既卒業者 15,000円×未定) | 0 | | |
| ⑥ 〃 | 20,000 | 利息 他 | |
| III. その他収入 | 20,000 | | |
| 総 計 | 19,014,186 | | |

| 支出の部 | | (単位：円) | |
|-------------------|------------|----------------------|--|
| 科 目 | 支出額 | 摘 要 | |
| I. 事業関係費 | | | |
| ①総会、役員会開催費 | 5,630,000 | | |
| ②総会費 | 400,000 | 案内状、郵送料270名 | |
| ③会議費(役員会等) | 200,000 | 年4回役員会、奨励金審査会、臨時会議 | |
| ④同窓会だより発行費(1回) | 2,000,000 | 2012.3現在 総会員数11,866名 | |
| ⑤卒業支援事業費 | 730,000 | | |
| ⑥卒業生謝恩会 | 400,000 | 23期(平成24年度) | |
| ⑦卒業生謝恩会 | 330,000 | 22期(平成23年度) | |
| ⑧同窓会員支援事業費 | 770,314 | | |
| ⑨ホームカミングデーの開催 | 1,000,000 | 第2回開催予定準備・開催費等 | |
| ⑩震災復興支援事業費 | 1,500,000 | 学生休憩広場改修(芝生メンテ、除染) | |
| II. 事務局関係費 | | | |
| ⑪人件費 | 1,980,000 | | |
| ⑫用品費、消耗品費 | 1,200,000 | 交通費・労働保険料含む | |
| ⑬印刷費、通信費 | 250,000 | パソコン(H/S) | |
| ⑭郵便費、通話料 | 250,000 | | |
| ⑮渉外費、庶務費、交通費 | 200,000 | 同窓会行事・役員会(交通費) | |
| ⑯支払手数料 | 30,000 | 証明書発行料、振込手数料 | |
| ⑰福利費 | 30,000 | | |
| ⑱修繕費 | 20,000 | | |
| III. 積立金 | | | |
| ⑲周年事業準備金 繰入 | 2,900,000 | | |
| ⑳大学支援事業準備金 繰入 | 800,000 | | |
| ㉑同窓会運営事業準備金 繰入 | 800,000 | | |
| ㉒同窓会奨励金 繰入 | 500,000 | | |
| ㉓予備費 | 8,504,186 | | |
| ㉔次年度事業運営費 | 8,000,000 | 平成24年度会費預かり金 | |
| ㉕当年支出予備費 | 504,186 | 会費返還分含む | |
| 総 計 | 19,014,186 | | |

《積立金明細》 平成24年度 積立金繰入後の積立金見込額

| 種 別 | 預 金 先 名 | 金 額(円) |
|--------------|------------------|-------------|
| 奨励金積立 | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 3,012,008 |
| 周年事業準備金積立 | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 11,704,105 |
| 大学支援事業準備金積立 | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 10,702,906 |
| 同窓会運営事業準備金積立 | 普通預金 東邦銀行(いわき鹿島) | 21,708,200 |
| 定期預金 | 東邦銀行(いわき鹿島) | 10,110,181 |
| 定期預金 | 東邦銀行(いわき鹿島) | 57,237,400 |
| 計 | | 118,274,800 |

※ 利息は含まない

平成24年度 事業計画

| | |
|---|--|
| 1 | 同窓会 定期総会 ◆平成24年6月16日(土) いわき明星大学 プレゼンテーション室 |
| 2 | 同窓会だより「共にいつまでも 20号」発行 ◆発行時期 8月 ◆作成部数 10,000部 |
| 3 | 平成24年度ステップアップ奨励金 7月～11月 |
| 4 | 卒業支援事業 3月 ◆卒業生謝恩会 ◆卒業記念品 |
| 5 | 同窓会員支援事業 ◆第2回ホームカミングデーの開催 |
| 6 | 震災復興支援事業 ◆学生休憩所リニューアル及び芝生のメンテナンス(厚生館～人文館) |
| 7 | 役員会の開催 4月/5月/7月/10月/1月 年5回 同窓会会員数(H24.5月現在) 11,819名 |



卒業生の皆様へ

いわき明星大学学長 ● 関 口 武 司

同窓会会員の皆様におかれましては、各界でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より大変お世話になっていきますことに改めて御礼申し上げます。また昨年度は同窓会より本学への震災復興支援として、放射線測定用サーベイメータを御寄贈いただきまして誠に有難うございます。心より感謝申し上げます。

早いもので、未曾有の大災害となった東日本大震災から1年と数カ月が経過しました。しかし、福島県、とりわけ本学が位置する浜通り地域の復興は、福島第一原子力発電所事故の問題を抱えている限り、短期的に成し遂げられるものではないと感じております。殊に原発事故と放射能汚染による風評被害は、学生数が減少した教育分野のみならず産業、コミュニティ、食文化など、実に広範囲な分野に深刻なダメージを与えています。このような状況の中で、原発事故を起こした福島第一原子力発電所に最も近い大学の一つとして、そして被災地の最前線にいる本学は、浜通り地域の復興の為に息の長い支援活動を推進することが、この地域における大学としての第一の使命と考えております。

昨年10月には、大学の持つ幅広い教育・研究分野を地域復興に活かすため、全学横断的な組織として、「いわき明星大学復興事業センター」を設立致しました。これは、震災の発生以降、大学が継続して実施してきた放射線測定事業や、地域の小・中学校児童生徒に対するメンタルケア、さらにスクールカウンセリング事業などの地域貢献活動を一元化することで、復興に向けて増大するさまざまな外部ニーズを集約し、大学の持つリソースを最大限に活用して、活動内容を適

切に発信していくことを目的に組織されたものです。この4月からはセンターの取り組みとして、原発事故による避難地域の高等学校3校をキャンパス内に受け入れる地域貢献活動が始まり、順調なスタートを切っております。

今回の複合型大災害は、入学者の減少等、本学の根幹を揺るがす事態を招いておりますが、こうした状況を打ち破って、今後とも地域の大学として存続・発展していくには、大学にとっての最大の理解者である同窓会の皆様の母校をバックアップするパワーが絶対に必要と認識しておりますので、皆様のご理解とご協力の程を切にお願いする次第でございます。

最後になりましたが、今回の震災とそれに伴う原発事故により、生活環境が急変して大変ご苦労なさっておられる同窓生の皆様の生活が、一刻も早く正常に戻ることを心より願っております。

いわき明星大学同窓会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



恩師だより



卒業生の皆様へ

元理工学部・科学技術学部教授

楊 仕 元

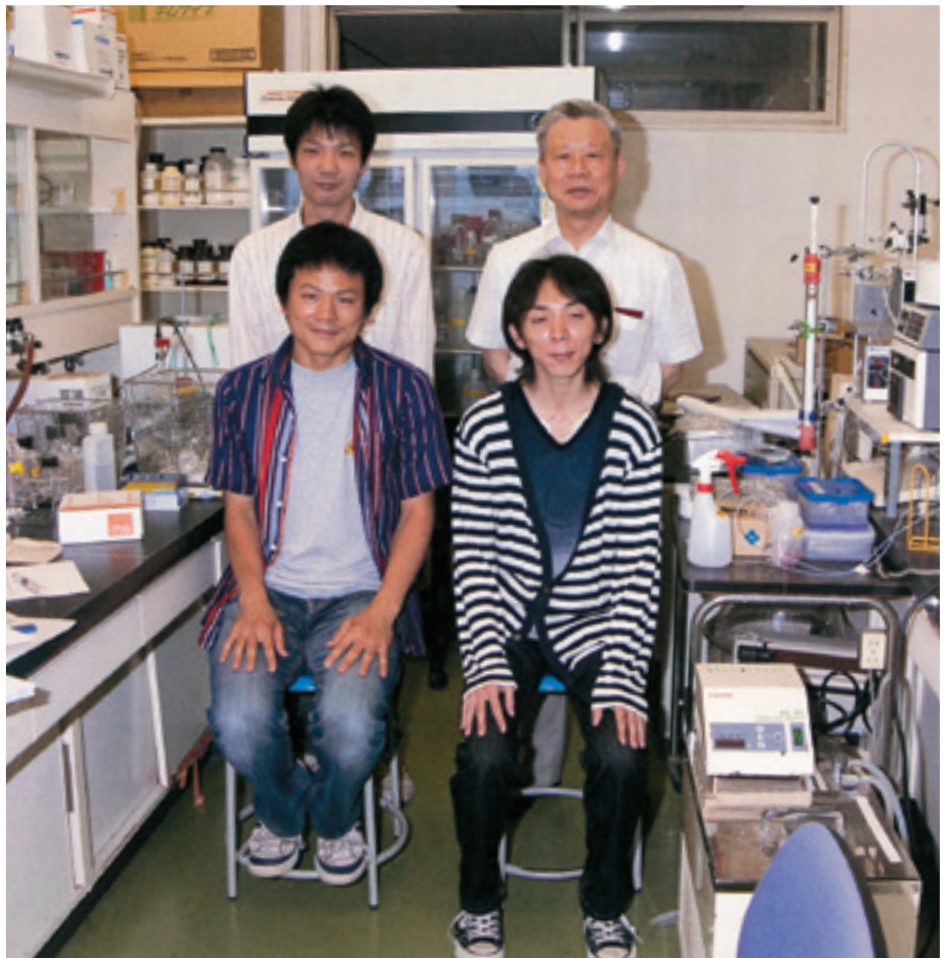
私はいわき明星大学創立の1987年（昭和62年）に赴任して以来定年退職した2011年（平成23年）3月まで、本学に24年間在職しました。振り返ってみれば、あっという間だったかなと思うこともあれば、いや随分長く居たもんだと感慨にふけることもあったり、実に複雑な気分である今日この頃です。24年は四半世紀に一年欠けますが、人間社会では一世代進む勘定にはなりません。つまり、この世に生まれた子供が成長し、結婚して自分の子供を産むというぐらいの時間の経過を指します。というわけで、感慨にふけるのを許されても悪くはないでしょう。

理工学部（科学技術学部）にあった私の研究室を卒研で通り抜けて行った学生は110人余り。新しいことに遭遇して目を輝かせる学生、あるいは尻込みする学生、素直な学生、反発する学生、無視するもの、わが道をゆくもの、稀に卒業を遅らせてしまったもの、「青春の蹉跎」を味わったもの、実にさまざまな個性がありました。この若者たちを見てみると、時代とともに学生気質も変わっているという言に、なるほどと思ったことも多少ありましたが、しかし、私の青春時代を共に過ごしたかつての若者たちと比べてみても、それほど違っているという印象はなかったように今は思います。社会に出る前に大学という環境の中でともに自分を磨く多感な青年たち、という共通項を見ているからでしょうか。時代とともに学生気質だけが変わるのではなく、老若男女を問わずあらゆる人の気質もそれにつれて変わっているはずで。

昨今、海外に出る若者が少なくなっている、内向きの傾向がある、

といった言がありますが、もしそれが本当であれば極めて残念に思います。広い世界にもっと目を向け、異なる民族・文化に多く接し、彼らを認識し、理解すれば、自らの生き方もより積極的に、大いに変わるものと思います。ただ、大地震、津波、原発事故と状況が急変してしまいました。さまざまな困難が立ちはだかっているのは確かです。それでも学生はこれからの人生を歩んでいかなければなりません。だとすれば、なおのこと首を垂れて内を向くよりも、背筋を伸ばし胸を張って前進するのが宜しい。若者にはその力があると私は信じています。

人生あまり後ろを振り向いてこなかった老人のこの頃の感慨でした。



会員だより



物性学科 1期生
沼内政典
(旧姓：上遠野)

同窓生のみなさん、こんにちは。物性学科1期生の沼内です。

現在、双葉高校に勤務しております。

ご存じの通り、双葉高校は福島第一原子力発電所から3.5kmの距離にあり、警戒区域となり、避難を余儀なくされました。昨年度は、郡山、福島、会津若松、いわきの4つのサテライトに分かれて授業を行っていましたが、今年度はいわき明星大学の科学技術系館東館と振動・制御実験センターをお借りして、双葉翔陽高校・富岡高校とともに新たな高校生活が始まりました。最初は戸惑いもありましたが、徐々になじんできて、生徒達も学習、行事、部活動に熱心に取り組んでいます。

さて、卒業後20年以上経過していますが、大学に入ると、在学当時の思い出がよみがえってきます。当時の先生方や事務の方が、今もいらっちゃって、私のことを覚えていてくださり、声をかけていただいたことがうれしかった

です。また、学食もリニューアルしたり、コンビニが入っていたり、図書館が立派になったりなど目に見える変化もあります。小さかった桜やイチョウの木が大きくなっていたことに驚きました。20年という時間の経過を感じました。

ところで、私は双葉高校の部活動で理科部を担当しています。現在は、「植物の成長過程における放射性物質の吸収（仮）」というテーマで研究していますが、その中で、環境放射線測定室のスタッフみなさんにアドバイスをいただいたり、放射能の測定をしていただいています。また、農業愛好会のみなさんともいろいろと活動させていただく予定です。特に信田重成さんには同じ研究室出身ということもあり、すっかり甘えています。この場を借りて、御礼申し上げます。

避難という形のサテライト校ですが、この逆境を好機ととらえ、今までできなかった大学生との交流を深めたり、最先端の科学技術を味わわせたいと思っています。

あの日から、1年4ヶ月。日本は立ち上がりつつありますが、双葉郡は止まったままです。でも、高校生は元気です。この高校生たちは日本の宝だと思っています。この宝を大切に育てていきたいと思う、今日この頃です。



吉田(喜)研究班



会員だより



物性学科 2期生
山守 章 二

私は、第2期卒業の山守と申します。いわき明星大学を卒業して20年以上経過しました。

大学時代は、第1期の先輩方と軟式野球同好会を立ち上げ、毎日、野球に明け暮れておりました。3年生の時、念願の軟式野球部となり大学の連盟に加入して、ようやく試合に出場出来る様になり、4年生の時には、東北大会で勝ち進み、全国大会まであと一歩！のところまで行きました。今でも、その時のメンバーが集まり、お酒を飲みながら大学時代の思い出話に花を咲かせております。

大学卒業後は、いわき市内の民間会社に営業職として勤務しました。皆様ご存知のとおり、人との出会いが数多く

ある職種です。営業は契約を取るまでが大変楽しい道のりの連続です。しかし、契約に至った時は、喜びも一入であり、その経験を経て皆様に日々成長させていただいております。

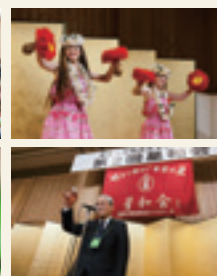
そんな毎日を送っている最中、自然豊かで温暖な気候のいわき市が昨年の大震災で多大な被害を受けました。今、いわき市は復旧から復興、再生へと向かって頑張っております。私も大好きなふるさといわきの再生の為に何か出来ることは無いかと日々考えておりました。しかし行動に移さなければならないと思い、小さな力ではありますが立ち上がろうと考えております。

全国の同窓生の皆様、いわき市は、必ず復興し、以前よりも素晴らしい、いわき市になると思います。全国の同窓生の第二の故郷いわき市をこれからも見守り続けてください。そして、いわき市にどんどん遊びに来てください。よろしくお祈りします。

最後になりますが皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ひろがる明星の「和」

第2回星和会(同窓生懇話会)・開催!



学苑創立90周年を来年に控えて、
そして、創立100周年を見据えて。

明星幼稚園、明星小学校、明星中学校、明星高等学校、明星大学、いわき明星大学、明星大学通信教育部の同窓生合計約13万人の人的ネットワークをさらに強くするために、平成24年5月27日(日)、「第2回星和会」が開催されました。山形や静岡、広島といった日本全国、さらには台湾からの参加もあり、約400名の同窓生が集まりました。



いわき市からの特別ゲストによる「フラ&タヒチアンダンスショー」



式のオープニングを飾った、明星大学吹奏楽団の演奏

～当日のプログラム～

- ① 祝賀ウェルカム演奏(明星大学吹奏楽団)
- ② 開会の辞
- ③ 理事長挨拶(学校法人明星学苑理事長 蔵多得三郎)
- ④ 乾杯・男子部19星会卒 松前紀男(東海大学名誉教授・元東海大学学長)
- ⑤ ご懇談
- ⑥ 設置校代表者紹介・挨拶(明星大学学長 小川哲生)
- ⑦ 同窓会長紹介
- ⑧ 同窓生各部門代表紹介(同窓生近隣市長・議員、教育、企業経営部門他)
- ⑨ 活躍在学生紹介(日本代表選手・各種表彰受賞者代表他)
- ⑩ いわき市からのスペシャルゲスト「フラ&タヒチアンダンスショー」
- ⑪ ご懇談
- ⑫ 中締め(明星大学同窓会長 菊田秀次)
- ⑬ 閉会の辞(学校法人明星学苑常任理事 大室容一)

同窓会活動及び支援報告

卒業生支援事業

卒業記念品の寄贈
 22期卒生 河津桜6本 銘板 **支援金** 400,000円



卒業謝恩会
 平成24年3月20日
支援金 270,000円



新同窓会 22 期委員が打合せを重ね謝恩会の準備を行いました。卒業生からの気持ちとして今年度は、学位記授与式と祝賀会までの時間にお子様をお待ちになれる保護者の皆様の為に、厚生館で軽食を準備させて頂きました。なごやかに歓談されながら楽しそうに召し上がっておられました。

在校生支援事業

平成23年度いわき明星大学同窓会 ステップアップ奨励金報告 **給付額** 45,000円

平成 23 年度 I MU 同窓会ステップアップ奨励金募集に対し、4 件の申請がありました。厳正なる審査の結果、本年度給付される資格件数は、5 件と決定致しました。詳細は、以下の通りです。

| 資格難易度 | 資 格 名 | 件数 | 給 付 内 容 |
|-------|---|----|--|
| E | TOEIC スコア 500 点以上、外国語検定 3 級程度（英検 2 級）、簿記 2 級、IT パスポートなど | 5 | 日本語検定 2 級取得者 パソコン検定準 2 級取得者 実用英語検定 2 級取得者 その他）共同教育プログラム参加報告 |

給付される皆さんは、資格基準目安相当の資格を達成されたことや、次の目標に対するそれぞれの意欲等が評価されました。また、同窓会では申請された学生がこれからもモチベーションを高くもって、継続的に努力されるよう希望します。

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>資格者 A さん</p> <p>●資格選択の理由 高校時代に取得失敗を経験し大学の講座を利用し再挑戦をしました</p> <p>●今後の抱負 大学の学業に励みながら、秘書検定をはじめ様々な資格に挑戦し自分を高め充実した大学生活を送っていきたい</p> | <p>資格者 B さん</p> <p>●資格選択の理由 学んでいる表現文化学科では 2 年次に学科試験で受験する資格後知識や応用力を身につけたいと思い受験をしました</p> <p>●今後の抱負 日本語の使い方に自信がもてるようになり、知識理解が深まりました。敬語や文法の学習により正しい言葉使いを身につけることができました。日常だけではなく、就職活動その後の自分の人生に役立てたい</p> | <p>資格者 C さん (2 件申請)</p> <p>●資格選択の理由 体験プログラムでは体験報告と意見交換を行い、しっかりとした意見考えをもっている医大生のように同じ大学生として刺激を受けました。いい自己成長の機会でした</p> <p>●今後の抱負 大学の中で講義をうけるだけでは絶対にわからないことを学べるため、今後も積極的に参加し自主的になにかを学ぼうとしたり社会との関わりをもっていきたいと思えます</p> | <p>資格者 D さん</p> <p>●資格選択の理由 国際化の流れに英語はますます重要に思われる。薬剤師免許以外で実力を客観的に示すことのできるものとして、継続的に挑戦し続けていきたいと考える資格であるため</p> <p>●今後の抱負 初めて受験した TOEIC の点数がふるわなかったことに対する悔しさをバネに十分なスコアアップが図れるよう対策をたてている</p> |
|--|---|--|---|

卒業を祝う会
平成23年10月1日
AV大講義室
支援金 200,000円

東日本大震災により中止になっていた平成22年度学位記授与式を「卒業を祝う会」として10月に挙行することができました。同窓会へ22期卒業生の方々より「友達に別れをすることもないまま、恩師にご挨拶をする機もないまま・社会人としての生活がスタートしてしまった混乱の中で、なにか区切りをつけられる機会を得たい。どんな形でもいいから卒業式に代わるものを是非してほしい。というお話が届けられました。大学に申入れをさせていただいたところ、学長さんはじめ大学職員のみなさまのご尽力により実施することができました。

学部・大学院あわせ卒業・修了生147名。卒業生の皆さんは、半年ぶりに戻ってきた思い出の学び舎で久々に再会した友人たちと晴れやかな笑顔で明るく話をはずませていました。会の中では、理事長の挨拶に続いて、卒業生代表の**科学技術学部 電子情報学科小野広平さん**が、お礼の言葉を述べました。

「本日は私たちのためにこのように盛大な卒業を祝う会を開いていただきましてありがとうございます。また先程は学長先生をはじめ理事長先生からあたたかいお言葉を頂き、胸が熱くなる思いがしております。本当にありがとうございました。

こうして壇上に立っていると、この講義室で学んでいた光景を思い出し、とても懐かしく感じられ、私たちがこの学校で過ごした4年間のいろんな出来事が次々に頭の中によみがえってきます。

この度の東日本大震災で、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

震災により本来であれば、桜のつぼみが、ふくらみはじめる3月、全員揃っての学位授与式を開催の予定でしたが、残念ながら開催することができませんでした。お世話になった方々にご挨拶もできず、また友人たちにも確かな声をかける間もなく、大学卒業となってしまいました。そして、これまで、それぞれが、いまどうしているか?と心配をしておりました。

いま私たちは、それぞれの道を歩んでいます。震災後ますます先の見えない不安な環境が続いています。まだまだ景気もよくなっている状況ではありません。しかし、自分たちを信じ、大学生活で培った経験を糧にして、これからも困難に恐れず立ち向かっていく所存です。

最後になりましたが、私達がこうして無事卒業の日を迎えることができましたのも、今日まで熱心にご指導下さいました先生方、親身になって相談に乗って下さいました職員の皆様、大学で共に学び励まし合った友人達、いつも陰で私たちの成長を見守って下さった家族、そのほか多くの方々のお陰であると深く感じています。これまで私たちを支え、力になって下さった全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

私たちは必ず皆さんから受け取った「心」を忘れずに、この「絆」を大切に、社会人として頑張りたいと思います。今後どうかあたたかく見守っていただき、そして時には変わらぬご指導をお願い致します。いわき明星大学のますますのご発展と、皆様方のご健闘とご多幸をお祈りいたします。卒業生祝う会を代表し、ここでもう一度心から感謝の言葉を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。「本当にありがとうございました」



蔵多理事長あいさつ



卒業生代表の言葉



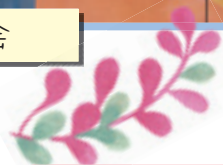
卒業を祝う会



懇親会



学友とともに



会員の皆様へ

1

第1回ホームカミングデーの開催報告



IMU学園祭にあわせて 平成23年10月22日(土)・23日(日) 両日に

第1回 いわき明星大学同窓会

at. 地域交流館

ホームカミングデー

開催されました!



懐かし学び舎へ旧友との再会を懐かしみながら、家族や友人と 200 名以上多くの方が訪れて下さいました。大学教職員の方々、(前学長) 高重正明先生、(元 IMU 教授) 前田好美先生にもご臨席いただくことができました。第1回目ということで、招待期の1期 11期 21期卒業生には、同窓会から記念品が渡されました。平成 24 年度第2回目は、2期 12期 22期招待期となります。

10/22のウェルカムセレモニーでは、★大久保会長の挨拶 ★関口学長の挨拶 ★下司先生基調講演 ★東北6県ふるさと名産品抽選会 ★いわき明星大学同窓会 OB.OG による音楽ライブなど、様々な催し物が行われました。ご用意させていただいたバイキング式お料理を囲みながら懐かしい恩師や旧友と歓談の時間をもたれていました。新しい出会いや改めて交流を深める機会を提供することができました。



Home Coming Day



下司和男先生 1991～2003年まで13年間、理工学部物性学科で教鞭をとられておりました。当日は、歴史の話から科学史、その中に研究者としての心構え等わかりやすくお優しくお話をしてくださいました。

先生より「小生も来年は80歳の大大を迎えますが、どうか杖も、入れ歯も補聴器のお世話にもならず、元気に過ごしております。次の機会にもお声をかけて頂ければ幸いです。大学、同窓会の一層のご発展を祈っております」とのお礼のお言葉をいただきました。



東北6県ふるさと名産抽選会 受付で配布された名札の裏に、番号が書かれていました。抽選箱から1枚ずつ同窓会役員の遠藤さん（現社1期）が引く毎に歓声があがっておりました。会津味噌／あきたこまち／江刺の蜜入りりんご大玉／米沢牛ギフトセット／活ほたて貝／牛タン味噌つけ等 計12名がひき当てました。後日当選者の方々より、堪能された喜びのお声が届けられました。平成24年度も予定しておりますので、是非参加して見てください。



■地域交流館前「SKY」いわき市 ジャズ
メンバー▶ EG:うきよん(宇野恭平=IMU OB) Vo:よっこ(宇野芳子=IMU OG)
PR▶ ♪♪♪ボーカル×ギター編成のjazz duo・SKYです。実は夫婦だったりします。出産を機に、しばらく音楽活動を控えていましたが、ライブ活動を再開しました！ jazzをベースに、bossa、rock、popsなど演奏します♪♪♪

■特設ステージ「tone」いわき市 ポップス
メンバー▶ Vo:chika/Vo:のりえ/Vo:Licca/EFP:しげっち(大高茂功=IMU OB) /EG:ユウキ/Tp:よしぼ
PR▶ ♪♪♪:ゴスペル曲をスタートに、Jazz・popsなどジャンルを問わずに自分たちで曲をアレンジし、表現する。3人の個性が重なり合って生まれるサウンドは“心地よい”“楽しい”という声が高い!? 私たちらしい音楽をお届けいたします!!! ♪♪♪

■サイン会とDVD発売の為に 学園祭を訪れていました。
訪問者▶いわき在住タレント **諸橋沙夏さん**
 「LATOV」イメージガールにも決まりました。



2

東日本大震災にともなう大学支援募金のご報告と御礼

さる8月発行会報「第19号共にいつまでも」にて同封させて頂いた〈東日本大震災に伴う大学支援金の募集〉のお願いは、10月23日に締め切りをさせていただきました。

東日本大震災に際し、募金をお願いしたところ、1期から21期まで、多くの同窓会員の方々から支援金のお振り込みがございました。結果、10月31日現在で1,386,000円の支援金を募ることができました。皆様のご厚情に深く御礼を申し上げます。

皆様からのご厚意について、大学側との相談の結果『放射線量を精密に計測できるサーベイメーター』の寄贈をさせていただきました。いわき明星大学は、現在地域貢献活動を推進していますが、震災や原発事故に対してまさに今その貢献を果たすべく、寄贈したサーベイメーターは、大学の地域貢献への重要な活動に利用して頂いております。いわき明星大学の地域貢献の趣旨をご理解いただき、機器のご寄贈にご理解くださいますようお願い申し上げます。

サーベイメーター（2台）は、10月22日（土）に開催したいわき明星大学同窓会第1回ホームカミングデー・オープニングセレモニーにおきまして、同窓会会長から、関口学長へお渡しを致しました。



総額 ▶ 1,386,000円
 同窓会会員 ▶ 158名
 寄贈品 ▶ シンチレーションサーベイメータ 2台 (価格) 866,250円

また、519,750円の残金につきましては、平成24年度震災復興支援事業 予算200万の一部金として「いわき明星大学内の一部芝生メンテナンス及び学生休憩所のリニューアル補修工事」の現物寄付の形で、大学へ申入れをさせていただいております。決定次第同窓会HPにてご報告させていただきます。



寄贈品贈呈のようす

3

いわき明星大学同窓会 発行「図書館利用証」申請について

申請受付・発行場所が、変更になりました

これまで、同窓会で発行させていただいておりました図書館利用証は、平成24年7月以降の**新規申請者分より**、いわき明星大学図書館窓口にて申請・発行の手続きを行うことになりましたのでお知らせいたします。

申請に関して、**身分証明書の提示が必要となりますので、ご持参ください**。また、過去の利用証の紛失や使用ができなくなった場合についても、再発行申請を行うことになりますので、直接お願いいたします。



利用規則

| | |
|------------|--------|
| 館内閲覧 | 5冊まで |
| 図書貸出 | 3冊まで |
| 雑誌貸出 | なし |
| DVD、ビデオの利用 | なし |
| 書庫入庫利用 | 利用できます |
| Myライブラリ | 利用できます |

開館時間

(月)～(金) 8:45～21:00
 (土) 8:45～17:00

休館日

(日)、祝日、お盆休み、
 年末年始、明星学苑創立記念日
 その他館長が必要と認めた日

その他

- ★カードの有効期限はありません
- ★Myライブラリのパスワードを発行しますので、図書館のカウンターへお申し出ください。
 今までの利用履歴や貸出情報を確認することができます。
- ★このライブラリーカードは表面に記載されたご本人のみ使用できます。カードを他人に貸与しないでください。
- ★図書館の資料を借りる際にこのカードを提示してください。
- ★カードを紛失した時は、すぐに図書館へ申し出てください。
- ★各年度の初回利用時に、ご住所等連絡先を確認いたします。

図書館HP

<http://www.iwakimu.ac.jp/library/index.html>

4 会費請求について

IMU 同窓会が開設（平成9年）されて、15年目を迎えました。

同窓会では、下記同窓会会則「会費」

第19条 本会の経費は入会金、会費、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。

第20条 本会の正会員は、卒業時に入会金を納入し、所定の会費を納入しなければならない。

第21条 入会金は5,000円とする。会費は年1,000円とし、入会時に、原則として15年分（15,000円）を一括前納する。それ以後は、5年毎に（5,000円）一括前納する。

に明記されておりますとおり、第1回会費納入より15年を迎える会員の皆様に、平成25年度より会費納入のお願いをさせていただきますこととなります。

次年度会報へ振込方法について同封させていただきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

対象
卒業年度

| 卒業年度 | 期生 | 学籍番号 | 卒業年度 | 期生 | 学籍番号 |
|------|----|------|------|----|------|
| 1990 | H2 | 1 87 | 1994 | H6 | 5 91 |
| 1991 | H3 | 2 88 | 1995 | H7 | 6 92 |
| 1992 | H4 | 3 89 | 1996 | H8 | 7 93 |
| 1993 | H5 | 4 90 | 1997 | H9 | 8 94 |



5

平成24年度役員改選報告 [任期期間：平成24年4月より平成27年3月]

| 役職名 | 人数 | 氏名 | ふりがな | 期 | 学籍番号 |
|-----|----|---------|-------------|----|--------|
| 会長 | 1名 | 大久保 明 朗 | おおくぼ あきら | 1 | R87019 |
| 副会長 | 2名 | 猪 狩 明 宏 | いがり あきひろ | 2 | D88009 |
| | | 信 田 重 成 | しだ しげなり | 1 | B87028 |
| 会 計 | 2名 | 桜 井 督 士 | さくらい まさし | 4 | B90016 |
| | | 島 崎 圭 介 | しまざき けいすけ | 12 | N98061 |
| 監 査 | 2名 | 遠 藤 拓 哉 | えんどう たくや | 1 | S87010 |
| | | 安 斎 孝 幸 | あんざい たかゆき | 3 | D89001 |
| 理 事 | 3名 | 宮 腰 俊 行 | みやこし としゆき | 2 | S88066 |
| | | 七 島 良 雄 | ななしま よしお | 5 | D91099 |
| | | 梅 宮 雄一郎 | うめみや ゆういちろう | 8 | S94011 |

6

第22期同窓会新委員の紹介

| | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 電子情報学科 | システムデザイン工学科 | 生命環境学科 |
| 遠藤 喜貴 戸部 直也 | 奏 宏史 北條 友樹 | 石川 千尋 尾形 仁美 |
| 表現文化学科 | 現代社会学科 | 心理学科 |
| 山岸 繁幸 渡邊 裕人 | 丸山 純平 山本 大貴 | 菅原 郁香 |



地域貢献事業紹介

1. 地域交流室 電話：0246-29-5412 e-mail:chiiki@iwakimu.ac.jp

「地域に開かれた大学」、「地域に貢献する大学」として地域社会との文化交流の窓口として設立しました。本学公開講座の企画・運営や地域振興に向けた官学の連携協力への取組み、また、いわき市内外の小・中・高校生をはじめ、一般社会人等の学内見学、学内施設貸出業務等を行っています。

なお、学内見学は随時受け付けており、学内施設貸出は児玉記念講堂や陸上競技用グラウンド、体育館、AV大講義室等があります。

- 平成 24 年秋期公開講座 予定 ●
- | | | |
|-------|----|----------------------|
| 第 1 回 | 日時 | 2012 年 11 月 17 日 (土) |
| 第 2 回 | 日時 | 2012 年 11 月 24 日 (土) |
| 第 3 回 | 日時 | 2012 年 12 月 1 日 (土) |



児玉記念講堂



AV大講義室

2. 産学連携研究センター 電話：0246-29-7184 e-mail:sangaku@iwakimu.ac.jp

地域社会の発展に寄与し、地域及び民間機関との連携を深めるために、技術支援や公開講座、理工学セミナー等を開催するとともに、地元企業との共同研究・委託研究を行ってきました。

地域産学官民のさらなる連携の促進、最新技術の確立、そして地域活性化を図るため、従来の活動を発展的に統合する目的で設立されました。

なお、各種技術相談についてはセンターが窓口となり、学内教員とのコーディネートを行います。

3. 心理相談センター 電話：0246-29-7837 (なやみな(し))

臨床心理相談、及びそれに関連する研究と教育を行うことを目的として設立しました。

センターでは、臨床心理に関する調査・研究、心理相談、大学院生の教育・実習、地域社会を対象とした研修・公開講座を行います。

● ばんえつセミナー 2012 こころとからだを育む連続講座 ●

2007 年度より開催し、ご好評いただきました“ばんえつセミナー”を、本年度も「こころとからだを育む連続講座」として開催します。“こころとからだ”をコンセプトにし、身近な題材を用いて具体的に学び、生活をより豊かにする知識を紹介していきます。これまで同様、体験・参加型の形式、講師と参加者の交流を重視した実践的なスタイルで開催してまいります。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております。



第 1 回「ストレスへの対処とこころのサポート」

講師 富永良喜先生 (兵庫教育大学教授)

日時 2012 年 9 月 29 日 (土) 10:30 ~ 15:00

会場 郡山ワシントンホテル 会議室 (福島県郡山市大町 1-3-3)

第 2 回「トラウマ・ケア～つらい気持ちへの向き合い方～」

講師 宮崎 昭先生 (山形大学地域教育文化学部教授)

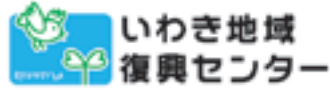
日時 2013 年 1 月 27 日 (日) 13:00 ~ 16:45

会場 いわき明星大学 地域交流館 学友会室 (福島県いわき市中央台飯野 5-5-1)

受講料：各回 1,000 円 定員：各回 50 名 (参加者には受講通知書を送付いたします)

お申し込みは、①参加希望の回、②氏名 (ふりがな)、③ご所属、④お電話番号、⑤受講通知書送付先となる FAX 番号、E-mail アドレス、または、ご住所をご記入の上、いわき明星大学心理相談センター (〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野 5-5-1 ばんえつセミナー係 FAX (0246) 29-7841 E-mail m-health@iwakimu.ac.jp) までお送りください。

4. いわき地域復興センター



住所：〒970-8034 福島県いわき市上荒川字長尾 74-8 アドレスいわき中央ビル 1階 105号室
TEL：0246-38-7132 FAX：0246-387134 E-mail:info@revive-iwaki.net URL：http://revive-iwaki.net

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

センター事務所

いわき地域復興センター事務所は、福島県いわき市上荒川のアドレスいわき中央ビル1階にあります。平成24年4月に開所式が行われ、いわき明星大学関口学長と東日本国際大学田久学長が、山崎センター長（いわき明星大学）・福迫副センター長（東日本国際大学）とともにテープを結び、協力を誓い合いました。



事業概要

いわき地域復興センターでは、以下の4つを事業の柱に掲げ、地域復興に向けて取り組んでいます。

I. 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業

- ・食品、環境中の放射性物質のモニタリング手法の研究
- ・放射性物質の負荷軽減技術の開発

II. 震災記録の保存事業

- ・震災資料のデジタルアーカイブ化
- ・震災証言の記録、収集

III. 被災地の情報発信による観光まちづくり事業

- ・地域情報メディアと連携したいわき地域に関する国内外への情報発信

IV. 被災障がい者自立支援促進事業

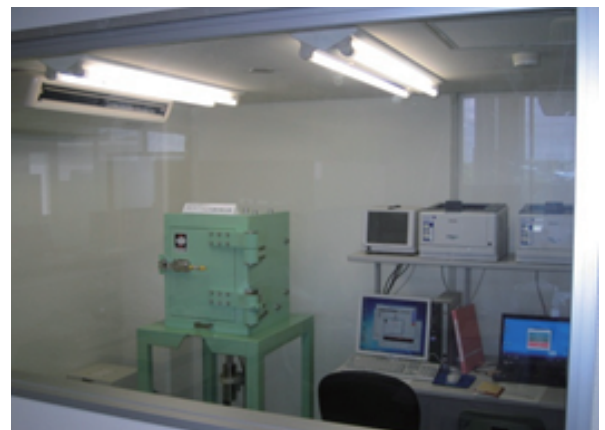
- ・被災した障がい者自立のためのプラン作成
- ・障がい者小規模作業所の事業安定化支援



活動内容

いわき地域復興センター事務所の主な活動は以下の通りです。

1. 放射能検査の受付（測定場所はいわき明星大学）
2. 震災関連、放射能関連の資料の提供
3. 放射能測定結果の公開、資料提供
4. ミニ相談会の開催
5. Webサイトを活用した震災関連の情報発信



放射能検査は、いわき明星大学環境放射線測定室で行っています。写真の装置は、SEIKO EG&G 製ゲルマニウム半導体検出器です。この他に、NaI シンチレーション検出器4台を導入し、地域の食品放射能測定を行っています。

いわき明星大学 教務・学生センター キャリアサポートG

1. 内定率（就職者／就職希望者）

平成 23 年度 合計 83.0%（男子 85.9% 女子 77.7%）

平成 22 年度 合計 77.8%（男子 75.8% 女子 81.3%）

2. 平成 23 年度おもな就職先について

1) 科学技術学部（内定率：89.5%）

磐城通運、大田精工、倉島商店、検査開発、三進金属工業、自衛隊、常磐エンジニアリング、シンニッタン、総合南東北病院、千代田エンジニアリング、テクモ、トーイン、東亜非破壊検査、ニチハ、東日本計算センター、福島ニチアス、古藤工業、ミツエイ、日立テクノロジーアンドサービス

2) 人文学部（内定率：80.5%）

アースサポート、いちい、磐城済世会、イオン・リテール、うすい百貨店、岡田電気産業、クリエイトエス・ディー、弘進ゴム、自衛隊、シマキュウ、セクスイハイム東北、積水ハウス、大東銀行、ツルハ、東開クレテック、東鉱商事、西尾レントオール、野村証券、マツモトキヨシ、マルト、万星食品、万代、三春町役場



● 卒業生へのご意見、ご希望

卒業生の皆様におかれましては本学を卒業し社会に羽ばたかれ、様々な分野で活躍されているかと思えます。本学のOB・OGの方々にぜひお願いしたいことが2つあります。

① OB・OGとしての学生へのアドバイス

学生に向け、ぜひ人生の先輩としてアドバイスをいただければと思います。キャリアサポートグループでは就職活動定期便や就職講座にてOB・OGの方にご登壇願ひ、ご自身の経験を語っていただく機会をご用意しています。我こそはという方はぜひキャリアサポートグループまでご連絡下さい。

② 求人のお願ひ

1 期生の方々は卒業後 20 年以上が経ち、それぞれの職場にて責任のある役職に就かれている方も多いかと思えます。もし皆さんの職場で新卒採用のお話が出た際は、ぜひ後輩を採用することにお力添えいただけますようお願いいたします。なお求人についてもキャリアサポートグループへご連絡下さい。

【連絡先】 いわき明星大学 教務・学生センター キャリアサポートグループ

電話：0246-29-7119 E-mail：job@iwakimu.ac.jp 担当：稲熊（イナグマ）

同窓会ホームページ(HP)をご利用ください

同窓会からの情報発信の強化のため、同窓会HPをリニューアルしました。本HPはコミュニケーション機能を有しており、登録することにより、同窓生同士の交流の場としても利用することができます。ご利用する方は、まず新規登録をお願いします。

本誌案内状に記載の『ログインID(学籍番号)・パスワード(5桁)』をお使いください。

※ 登録手順については、同窓会ホームページの左側にあるメニュー「本サイトの利用登録手順」をご参照ください。



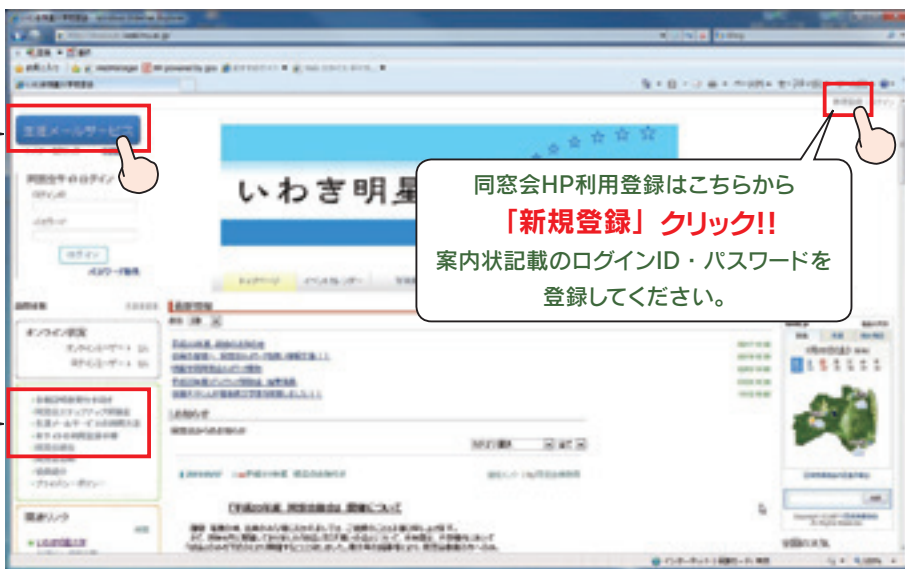
同窓会ホームページへのアクセス方法

- 方法1 ホームページアドレス <http://www.iwakimu.ac.jp/dousou/>
- 方法2 いわき明星大学トップページ > 「同窓会」

案内状 (A4用紙1枚)



同窓会ホームページ



生涯メールサービスへアクセスは、**このバナーをクリック!!**
案内状記載のWindowsLiveID (学籍番号@iwakimu.jp) ・パスワードでサインインできます。

同窓会HP利用登録はこちらから**「新規登録」**をクリック!!
案内状記載のログインID・パスワードを登録してください。

- 各種証明書発行手続き
- 同窓会ステップアップ奨励金
- 生涯メールサービスの利用方法
- 本サイトの利用登録手順
- 同窓会総会

生涯メールアドレスはご利用されていますか？

前回会報にて、生涯メールアドレス(学籍番号@iwakimu.jp)・パスワードを「大学と同窓生」「同窓生同士」の交流を目的として、各会員宛に発行させていただきましたが、ご利用されていますか？

生涯メールアドレスとパスワードについて、昨年度発行したものと同一内容を宛先記載の本誌案内状に記載していますので、再度ご確認の上、是非一度ご利用下さい。

※ 利用方法の詳細については、同窓会ホームページの左側にあるメニュー「生涯メールサービスの利用法」をご参照ください。

同窓会を開いてみませんか？

まずは、いわき明星大学事務局までご相談下さい。

気の合う仲間や、同期生、ゼミ研究室、恩師との「集いの会」を自分たちで開催してみませんか。
「あのころのお友達との再会」「恩師との久しぶりの交流会」となるよう同窓会はお手伝いさせていただきます。

「神山敬章先生の3度目の20歳を祝う会」開催報告

拝啓 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る平成 23 年 11 月 19 日（土）、いわき市湯本温泉の「雨情の宿 新つた」さんにて「神山敬章先生の三度目の二十歳を祝う会」が開催され無事終了いたしましたので下記のとおりご報告申し上げます。

私の不手際によりご迷惑をお掛けしましたが、神山ゼミ卒業生が一堂に会し先生のお祝いができたこととてもうれしく思っております。先生もとても感激されたようです。（あまりにもうれしくて朝方 3 時半まで部屋で講義をされていたことは内緒です…）

次の 20 日（日）には先生自らの案内でキャンパス見学が行われ、参加者たちは近代化された建物やシステムに驚いたり、懐かしい場所や空気に歓声をあげたりと楽しい時間を過ごしました。

今回お越しいただけなかった皆さまにおかれまして是非次の機会にお会いできることを楽しみにしております。皆さまのご協力をおもひまして無事終了できましたこと、改めて御礼申し上げます。

ありがとうございました。

敬 具

記

開催日時 平成 23 年 11 月 19 日(土) 18:00 ~
場 所 「雨情の宿 新つた」 福島県いわき市常磐湯本町吹谷 58
参加者 宴会：24 名 記念品のみ：14 名 キャンパス見学：9 名

「神山敬章先生 3 度目の 20 歳を祝う会」席順表

上野直紀先生
東京都八王子市
福島県古殿町

神山敬章先生
埼玉県朝霞市
福島県いわき市

五十嵐幸一先生
会津美里町
福島県いわき市

小野寺史 (9 期) 岩手県北上市
西山健一 (9 期) 福島県いわき市
宮永真之 (9 期) 東京都世田谷区
高橋幸也 (12 期) 宮城県小野田町
篠崎 建 (13 期) 栃木県真岡市
松浦智広 (13 期) 宮城県仙台市
金成保宏 (20 期) 福島県いわき市
伊勢田道 (21 期) 福島県いわき市
田久雄一 (8 期) 福島県いわき市
柴田 倫 (12 期) 福島県いわき市
緑川浩郎 (8 期) 福島県いわき市



松崎 総 (5 期) 福島県いわき市
緒方 香 (5 期) 福島県いわき市
西山清香 (5 期) 福島県いわき市
矢内康彦 (7 期) 福島県石川町
山口 洋 (7 期) 埼玉県川越市
若本征史 (7 期) 福島県いわき市
荒川宏史 (8 期) 福島県いわき市
山崎弘典 (8 期) 福島県いわき市
山本真也 (8 期) 群馬県桐生市
小畑睦子 (8 期) 宮城県仙台市
志賀梨紗 (16 期) 福島県いわき市

祝

神山敬章先生
三度目の二十歳を
祝う会式次第



平成二十三年十一月十九日

- 一、開会の辞 矢内康彦様 (七期生)
 - 二、ゼミ卒生代表挨拶 松崎総様 (五期生)
 - 三、神山敬章先生ご挨拶
 - 四、記念品贈呈・記念写真撮影 小畑睦子様 (八期生)
 - 五、乾杯 小野寺史様 (九期生)
 - 六、プレゼント贈呈 全員から(一〜二分スピーチ)
 - 七、花束贈呈 志賀梨紗様 (十六期生)
 - 八、閉会の辞 山本真也様 (八期生)
- 司会 緑川浩郎 (八期生)

以上



郵便はがき



料金受取人払

いわき支店
承認
2055

差出有効期間
平成25年3月
31日まで

9 7 0 8 7 9 0

いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学

同窓会事務局 行



郵便はがき



料金受取人払

いわき支店
承認
2055

差出有効期間
平成25年3月
31日まで

9 7 0 8 7 9 0

いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学

同窓会事務局 行



第2回 ホームカミングデー開催のお知らせ

1. 日 程 **IMUフェスティバル2012** (いわき明星大学学園祭)

開催時間 **10月20日① 10:00~16:00 / 21日② 10:00~15:00**

2. 場 所 いわき明星大学 **地域交流館 1階吹き抜け・3階プレゼンテーションルーム**ほか

3. スケジュール(予定)

《20日》

| 10:00 | 10:30 | 11:00 | 11:30 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 |
|------------------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|---|-------|-------|-------|----------------|
| オープン (飲物/軽食 を用意) | | アーティスト ライブ① | | アーティスト ライブ② | | 式典プログラム 13:00~13:20 同窓会会長 挨拶 13:30~13:40 田嶋一夫先生 基調講演 13:45~14:00 豪華賞品が当たるくじ引き (昨年:東北6県ふるさと名産品) | | | | アーティスト ライブ③ |

《21日》 10:00 オープン(飲物/軽食 を用意)展示のみ

4. 出演交渉をしているアーティスト

DAZU-O(Hip-hop)/Rico(ボサノバ)/TONE(アカペラ)

今年度招待期の方々へ
記念品を用意させていただきます。
招待期は、
卒業「2期12期22期」

キリトリせん

同窓会 会員連絡書

現住所・勤務先・変更がある方は、ご記入の上、ご投函下さい。

| | |
|-------------|----------|
| 学籍番号 | (男・女) |
| フリガナ | |
| 氏名 | 旧姓(フリガナ) |
| 現住所 | 〒 |
| 電話番号 | - - |
| E-mail | |
| 勤務先 (役職) | |
| 勤務先電話 | |

会員の皆様へ
近況報告、同窓会へのご希望、ご意見をご自由にご記入下さい。

キリトリせん

同窓会 宛

(会員皆様の意見や情報をお寄せ下さい。)

●同窓会に希望する事

●ホームカミングデーについてのアンケート

特別招待期(2期・12期・22期) ホームカミングデーに
(参加予定・参加できません)

いずれかに○をつけて下さい。

●近況報告 いかがお過ごしでしょうか。

学籍番号 _____

氏名 _____

〒 _____
現住所 _____

電話番号 _____ - _____

E-mail _____